



# 株式会社なかモーター自工

## 2022年度環境経営レポート

(対象期間:2022年1月1日～12月31日)



作成日: 2023年6月30日  
更新日: 2023年7月25日

（株）なかモーター自工は、マツダ車等の販売・整備等の事業活動を通じて、継続的な改善を図りながら、地球温暖化問題への取組や地域の環境活動に自主的・積極的に取り組み、社会に貢献するディーラーを目指します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力および自動車燃料による二酸化炭素削減に努めます。
3. 3Sを推進し、廃棄物の削減に努めます。
4. 節水に取り組み、排水量の削減に努めます。
5. 環境によい車両、製品の採用および購入に努めます。
6. お客様に環境に配慮した製品及び情報を提供します。
7. 会社周辺の清掃活動を行います。
8. 環境方針は全社員に公表し周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し公表します。

制定日： H26年12月15日

改定日： R1年 9月 3日

代表取締役社長 田中祥秀

## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
 (株)なかモーター自工  
 代表取締役社長 田中 祥秀
- (2) 所在地  
 (株)なかモーター自工 本社 和歌山県海草郡紀美野町動木346-1  
 マツダオートザム紀北 和歌山県岩出市森227-1  
 中古車展示場 和歌山県岩出市堀口24-5
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
 責任者 西田明秀 TEL:073-489-3898
- (4) 事業内容  
 車両販売、車検・点検・整備および保険販売
- (5) 事業の規模  
 売上高 78 千万円

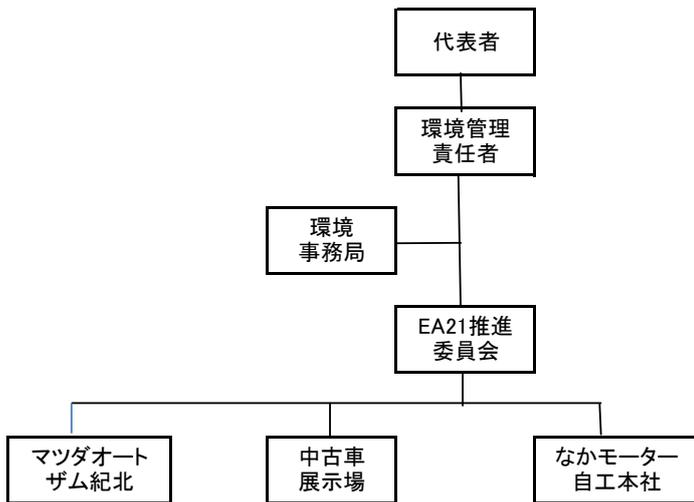
|                      | 本社・工場 | オートザム紀北 | 中古車展示場 | 合計    |
|----------------------|-------|---------|--------|-------|
| 従業員 38 名             | 15    | 10      | 0      | 25    |
| 延べ床面積 m <sup>2</sup> | 1,750 | 528     | 330    | 2,608 |

\* 関連会社に派遣人数  
13人

- (6) 事業年度 1月1日～12月31日

## □認証・登録の対象組織・活動

- 登録事業者名: (株)なかモーター自工
- 対象事業所: なかモーター自工本社  
 マツダオートザム紀北、中古車展示場
- 活動: 車両販売、車検・点検・整備および保険販売



| 役割・責任・権限      |  |
|---------------|--|
| 代表者<br>(社長)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>   |
| 環境管理<br>責任者   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>  |
| 環境事務局         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境経営活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul> |
| EA21<br>推進委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境経営実績の確認・評価</li> </ul>  |
| 部門長           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営実績の確認・評価</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成<br/>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>                               |
| 全従業員          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加</li> </ul>  |

□主な環境負荷の実績

| 項目       | 単位             | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|----------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素排出量 | kg-CO2         | 55,527 | 52,046 | 46,371 | 45,654 |
| 廃棄物排出量   | kg             | 9,203  | 16,187 | 15,599 | 12,829 |
| 一般廃棄物排出量 | kg             | 403    | 514    | 515    | 515    |
| 産業廃棄物排出量 | kg             | 8,800  | 15,673 | 15,084 | 12,314 |
| 水使用量     | m <sup>3</sup> | 8,260  | 6,935  | 6,960  | 6,635  |

※電力の調整後二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO2 関電2019年度実績

一般廃棄物は可燃ゴミです

産業廃棄物は、廃油、廃LCCの合計です

2019～2022年度は対象範囲拡大(本社、マツダオートザム紀北、中古車展示場)の環境負荷です

□環境経営目標及びその実績

| 項目              | 年度                 | 基準値<br>基準年 | 2022年     |        | 2023年   | 2024年   |
|-----------------|--------------------|------------|-----------|--------|---------|---------|
|                 |                    |            | 目標        | 実績     | 目標      | 目標      |
| 電力による二酸化炭素削減    | kg-CO <sub>2</sub> | 25,446     | 24,937    | 21,834 | 24,683  | 24,428  |
|                 |                    | 2019       | 98%       | 88%    | 97%     | 96%     |
| 自動車燃料による二酸化炭素削減 | kg-CO <sub>2</sub> | 30,081     | 29,479    | 23,821 | 29,178  | 28,878  |
|                 |                    | 2019       | 98%       | 81%    | 97%     | 96%     |
| 二酸化炭素排出量合計      | kg-CO <sub>2</sub> | 55,527     | 54,417    | 45,654 | 53,861  | 53,306  |
|                 |                    | 2,019      | 98%       | 84%    | 97%     | 96%     |
| 一般廃棄物の削減        | kg                 | 403        | 395       | 515    | 391     | 387     |
|                 |                    | 2019       | 98%       | 130%   | 97%     | 96%     |
| 産業廃棄物の削減        | kg                 | 8,800      | 8,624     | 12,314 | 8,536   | 8,448   |
|                 |                    | 2019       | 98%       | 143%   | 97%     | 96%     |
| コピー用紙の削減        | 枚                  | 122,212    | 119,768   | 98,067 | 118,546 | 117,324 |
|                 |                    | 2019       | 98%       | 82%    | 97%     | 96%     |
| 水道水の削減          | m <sup>2</sup>     | 8,260      | 8,094     | 6,635  | 8,012   | 7,929   |
|                 |                    | 2019       | 98%       | 82%    | 97%     | 96%     |
| グリーン購入の推進       |                    | —          | 代車にエコカー入替 | 2      | 年度毎目標設定 | 年度毎目標設定 |
| リサイクル部品の活用      | 千円                 | 776        | 791       | 941    | 799     | 807     |
|                 |                    | 2015年      | 102%      | 119%   | 103%    | 104%    |

(実績の%は目標値に対するものです)

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成 %＝実績÷目標

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 取り組み計画 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|--------|------|--------------------|
|--------|------|--------------------|

電力による二酸化炭素削減

| 数値目標                  | ○ | 88%   |
|-----------------------|---|---|
| ・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃) | ○ | 年間を通じて、入庫車両の増加があり、残業は増えた。そのなかで、平日の入庫を促進し作業の平準化を目指しているが、電気使用量は昨年を超えた。賢い電気の使い方を全員で学びたい。マツダオートザムで水銀灯をLEDに更新した。 |
| ・不要照明の消灯・外灯のタイマー設定時間の | ○ |   |
| ・ノー残業デーの実施            | ○ |   |
| ・空気圧縮機のエア洩れ点検         | ○ |   |
| ・作業改善、業務改善の推進         | × |   |

自動車燃料による二酸化炭素削減

| 数値目標           | ○ | 81%   |
|----------------|---|---|
| ・エコドライブの推進     | ○ | 本社は軽油使用なし。マツダオートザムで試乗や代車の軽油が増えた。全体で入庫車両の増加で燃料が増えた。より効率よく入出庫ができるように、グループ会社間の連携やユーザーとの信頼関係をつくります。 |
| ・引取車の効率化       | × |   |
| ・定期的タイヤ空気圧チェック | ○ |   |

一般廃棄物の削減

| 数値目標               | × | 130%                                 |
|--------------------|---|--------------------------------------|
| ・分別の徹底             | ○ | 雑紙(ざつがみ)の分別に心掛け、リサイクルできるものの分別に努力します。 |
| カタログ・販促品の適正な数量発注する | △ |                                      |
| ・帳票見直しによる印刷物の削減    | × |                                      |
| ・梱包材の再利用           | △ |                                      |

産業廃棄物の削減

| 数値目標             | × | 143%  |
|------------------|---|---|
| ・作業ミスによる廃棄量の削減   | ○ | 廃プラとタイヤはメーカー引き取りはメーカー引き取り、廃バッテリーと金属類などは売却、廃油・廃LCCが産業廃棄物である。廃油・廃LCCは自動車整備と試乗などに欠かせないもので削減対象に馴染みにくい。ただし、資源の有効活用のために管理をしていきます。 |
| ・素材別ボックスの設置      | × |   |
| ・クレームの発生撲滅       | × |   |
| ・3S(整理・整頓・清掃)の実施 | ○ |   |

コピー用紙の削減

| 数値目標           | ○ | 82%                               |
|----------------|---|-----------------------------------|
| ・裏紙の活用(両面印刷)   | ○ | マニュアルや業務連絡はできるだけ回覧して共同利用するようにします。 |
| ・ミスコピーの削減      | ○ |                                   |
| ・ペーパーレス化への取り組み | × |                                   |

水道水の削減

| 数値目標               | ○ | 82%  |
|--------------------|---|--|
| ・節水シールの貼り付けとポスター掲示 | ○ | 入庫車両の増加により、洗車機の使用が増えた。洗車の必要性が増していますが、メリハリが効いた作業をします。 |
| ・洗車時の節水            | △ |  |

リサイクル部品の活用

| 数値目標             | ○ | 119%   |
|------------------|---|--|
| ・顧客へのリサイクル部品活用提案 | ○ | 钣金・塗装は本社で実施しグループ会社の得手不得手の役割を活かしていきたい。このすみ分けのなか、リサイクル部品の使用をしています。 |
| ・優良なりサイクル部品業者の選定 | × |  |
| ・リサイクル部品活用勉強会の実施 | ○ |  |

清掃活動の実施(2回/月)

|               |   |                             |
|---------------|---|-----------------------------|
| ・付近の清掃を毎月2回実施 | ○ | 社屋と中古車展示場付近の清掃を毎月2回実施しています。 |
|---------------|---|-----------------------------|

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

| 適用される法規制    | 適用される事項(施設・物質・事業活動等)           | 遵守判定 |
|-------------|--------------------------------|------|
| 廃棄物処理法      | 一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等) | ○    |
| 騒音規制法・振動規制法 | 空気圧縮機                          | ○    |
| フロン排出抑制法    | 業務用空調機の簡易点検・記録、廃棄時の適正処理        | ○    |
| 自動車リサイクル法   | 自動車リサイクル法に基づく整備とリサイクル券の運用      | ○    |
| 浄化槽法        | 法1条水質検査は、本社・紀北ともに適切と評価された記録保管  | ○    |
| 消防法         | 危険物の保管(指定数量の1/5未満で管理)          | ○    |

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年2月20日

電力の削減はじめ多くの項目で目標達成だった。環境対応車の積極的な活用により燃料削減になっている。一般廃棄物の増加はやればできると考えられる。産業廃棄物の増加の原因は、主に入庫車両の増加への対応処置によるものです。これは今後もつづく傾向と考えられますが、全員参加で工夫して乗り越えていくよう指示しています。

|        |  |                               |
|--------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制   | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

□環境活動の紹介

